



一般質問

■災害復旧・除雪等の対応について

県道城山線の早期復旧を！

質問 ①8月の豪雨や9月の台風等で被害が市内各所に起き、9月議会において応急復旧予算約10億6千万円強が組まれた。市内多岐にわたって執行されると思うが、予算執行の方向性はどうか。②県道城山線は、全国に誇る歴史遺産である城山を散策していただくための重要な観光道路であるが、8月の豪雨で寸断されて、大打撃である。復旧の見通しはどうか。③今年度の除雪対応として、除雪の協力事業者と的確な協力が結ばれて、対応が確保されているのか。

答弁 ①被害の大きかった河川・道路等の土木関係や農地等の農林関係で約10億3千万円、そのうち5億6千万円は国の災害査定を受け、年明けから工事契約の発注準備を進め、残り4億7千万円は順に発注を行い、早期復旧に努めているところである。②県道城山線の重要性を踏まえ、県は国と協議し、災害査定を待たずに工事着手し、早期復旧に向けて取り組んでいる。市としても、一日も早い通行止めの解除に向けて、県に早期復旧をお願いしている。③昨年同様、今年度も7業者と除雪契約を締結し、除雪体制は、昨年より除雪機械を2台増やし、計153台に増強した。七尾市道路除雪計画に基づき、早めの除雪作業に努め、市民生活の足、また経済活動の確保を図っていく。

【その他の質問項目】
 ■洪水浸水想定区域図の見直し
 ■手続き簡素化
 ■高齢者支援



永崎 陽 議員 (新政会)



崩落した県道城山線

一般質問

■相撲王国七尾として

相撲王国にちなんだ七尾のPRを！

質問 のと里山里海ミュージアムが10月にオープン、また和倉温泉観光会館もリニューアルされ、(仮称)和倉温泉お祭り会館として生まれ変わる。その中で、全国発信できるものの一つに相撲王国七尾がある。先般亡くなった第54代横綱の輪島関、現在活躍中の輝関を含め、七尾市から5人の関取が誕生しており、全国に七尾の名を広げている。その功績を称える意味で、お祭り会館に相撲コーナーを設置する考えはないか。

答弁 七尾出身の5人の関取の活躍は、市民に勇気と感動を与えてくれたことは確かで、その活躍は大変素晴らしいものがあり、七尾市の誇りである。先般元横綱の輪島関が亡くなったのを機に、その活躍を称える観点で、民間でゆかりの品々を公開する展示場所を出身地の石崎町に設ける計画が報道等で明らかになっており、こうした民間レベルでの取り組みに期待をしている。お祭り会館は、祭りに特化したものにしたいため、本来の目的がぼやけてしまわないためにも、相撲コーナー設置は適当ではないと思う。ゆかりの品々を例えば石崎地区のコミュニティセンターや中学校の相撲場に写真を掲げるなど、市として場所を用意することはできる。ぜひ、ゆかりの方々をはじめとする市民皆様の主体的な取り組みに期待をする。

【その他の質問項目】
なし



中西 庸介 議員 (新政会)



元横綱輪島関の石碑

一般質問

■ICT教育の進め方について

地域に根差したICT教育を！

質問 ①学校に派遣されているICT支援員の業者の決定要因は何か。②プログラミング教育パッケージを提供できる市内業者に機会を与え、官民一体で新しい教育の進め方のアイデアを出し合っていくことが大事だと思うが、どう考えているのか。③プログラミング教育が必須化されるにあたり、それを学んだ人材をどのように地域のために活用していくのか、そのためにはどのような方針を打ち出すのか。

答弁 ①ICT支援員は、学習用ソフトをより有効に利用するために、ICT支援員をパッケージとして4社の中から選定し、契約した。市内10小学校に月に1、二度支援員が巡回し、ICTを活用した学習の準備や授業の支援等を行っている。②平成27年度に導入したタブレット学習用ソフトのなかにプログラミング教材がすでに入っている。今、新たに導入する考えはない。③プログラミング教育の内容を理解しながら、学習指導要領に基づいて着実に進めていくことが大事であり、ICTの専門家を養成する教育ではない。基本基礎を身につけたうえで、高校、大学と進学し、しかるのちに日本や世界で通用できる人材になっていくことが大事である。

【その他の質問項目】
 ■市内の産業保護と育成を税収増に繋げる戦略
 ■アクティブシニア層活用と進展状況



西川 英伸 議員 (新政会)



タブレット